



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省中国地方整備局

浜田河川国道事務所
出雲河川事務所
松江国道事務所
境港湾・空港整備事務所

平成31年 3月29日

資料提供先: 島根県政記者会

お知らせ

平成31年度 直轄事業（島根県分）予算概要

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

浜田河川国道事務所	河川関係:(河川)副所長 道路関係:(道路)副所長	かねはら 兼原 やまもと 山本	0855-22-2480
出雲河川事務所	副所長	ふじい 藤井	0853-21-1850
松江国道事務所	改築関係:(改築)副所長 管理関係:(管理)副所長	やまむら 山村 みぞた 溝田	0852-26-2131
境港湾・空港整備事務所 (浜田港出張所)	副所長	おおがみ 大上	0855-24-7380

予 算 総 括 表

直轄事業(島根県分)

[単位:百万円]

事業別	項目		平成30年度(当初)	平成31年度(当初)	対前年度比 H31/H30
河 川	斐伊川	一 般 河 川 改 修 事 業	3,154	3,151	1.00
		河川工作物等応急対策事業費	50	0	0.00
		総合水系環境整備事業	394	417	1.06
	江の川	一 般 河 川 改 修 事 業	231	1,292	5.59
		土地利用一体型水防災事業	620	573	0.92
		河川工作物等応急対策事業費	0	27	-
	高津川	一 般 河 川 改 修 事 業	138	828	6.00
		河川工作物等応急対策事業費	21	132	6.35
小 計			4,608	6,420	1.39
道 路	改 築		29,351	29,524	1.01
	交 通 安 全 事 業		1,500	1,365	0.91
	電 線 共 同 溝		282	688	2.44
小 計			31,133	31,577	1.01
港 湾	浜田港		1,120	1,366	1.22
小 計			1,120	1,366	1.22
合 計			36,861	39,363	1.07

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費等がある。

※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。

※上記予算の斐伊川分については、島根県・鳥取県分を含む。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

河川関係事業

1. 予算額

【金額単位：百万円】

事業費		平成30年度 (当初)	平成31年度 (当初)	対前年度比 H31/H30
斐伊川	一般河川改修事業	3,154	3,151	1.00
	河川工作物等応急対策事業費	50	0	0.00
	総合水系環境整備事業	394	417	1.06
	小計	3,598	3,568	0.99
江の川	一般河川改修事業	231	1,292	5.59
	土地利用一体型水防災事業	620	573	0.92
	河川工作物等応急対策事業費	0	27	-
	総合水系環境整備事業	0	-	-
小計	851	1,892	2.22	
高津川	一般河川改修事業	138	828	6.00
	河川工作物等応急対策事業費	21	132	6.35
	総合水系環境整備事業	0	-	-
	小計	159	960	6.05
合	計	4,608	6,420	1.39

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費等がある。

※上記予算の斐伊川分については、島根県・鳥取県分を含む。

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

ひいかわ
斐伊川河川改修事業
おおはしがわ
 ～大橋川改修～

事業費3,151百万円
 ※斐伊川水系全体

河-1

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

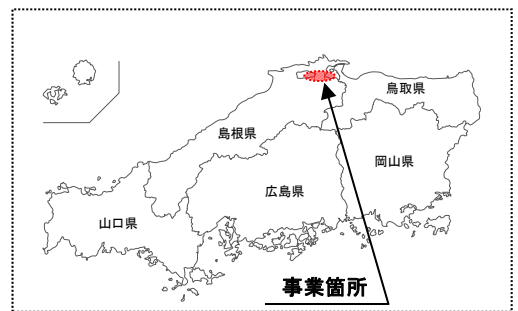
おおはしがわ

大橋川は「水の都松江」を象徴する水辺景観を形成していますが、堤防が未整備の区間があるとともに、上下流の2箇所に狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。このため、堤防整備等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

まつえ ふくとみちよう まつえ ひがしちやまち

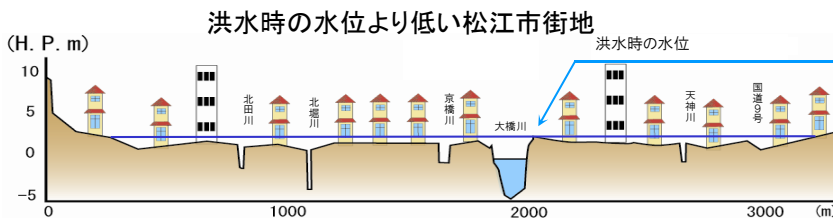
島根県松江市福富町～松江市東茶町地先



3. 平成31年度 予定事業内容

おおはしがわ

大橋川において、堤防整備、排水機場の整備、用地補償等を実施します。



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

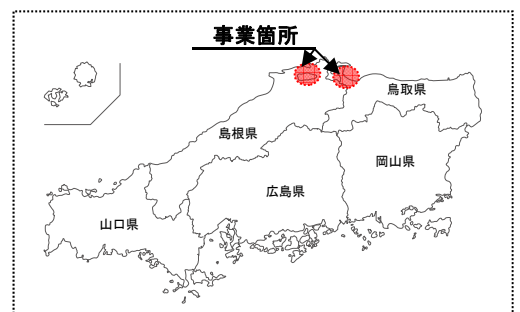
斐伊川水系中海・宍道湖の水質は、湖沼水質保全計画が策定された平成元年以降は流入負荷削減対策が進んでいるものの、環境基準(COD3mg/L以下、窒素0.4mg/L以下、りん0.03mg/L以下)が未達成であり、赤潮やアオコが発生するなどの課題があります。

このため、沿岸域において、浅場整備や覆砂を実施することにより、湖の自然浄化機能の回復を図り、透明度の向上や底質からの栄養塩(窒素・りん)の溶出抑制を図ります。

2. 事業箇所

中海：鳥取県米子市錦海地先、島根県安来市穂日島町地先

宍道湖：島根県出雲市美野地先

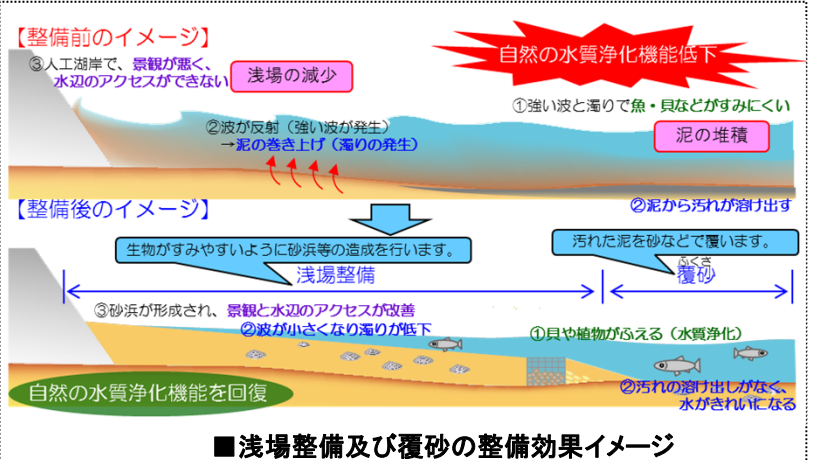


3. 平成31年度 予定事業内容

中海（米子湾）において覆砂を実施します。

宍道湖（美野地先）において浅場整備を実施します。

平成31年度 実施予定箇所



4. 期待される整備効果

浅場整備及び覆砂を実施することで、湖の自然浄化機能回復が図られ、透明度の向上や底質からの栄養塩(窒素・りん)の溶出が抑制されます。これらにより、湖の利用が多様化し、地域の活性化が図られるなどの効果も期待されます。

■現状



■整備後



事業推進

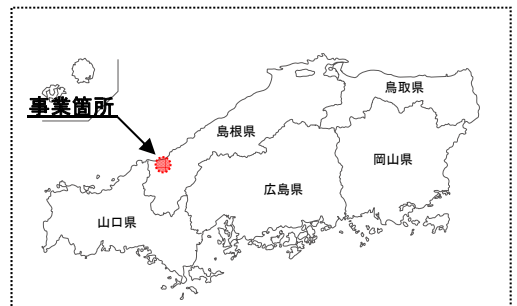
1. 事業の必要性及び概要

高津川の高津地先は、河川内に堆積した土砂等により河川整備計画の目標洪水に対し流下能力が不足しています。

このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「高津川の洪水を安全に流す掘削事業」として、河道掘削を実施します。

2. 事業箇所

ますだ たかつ
島根県益田市高津地先



3. 平成31年度 予定事業内容

高津川の高津地先において河道掘削を実施します。



4. 期待される整備効果

河道掘削等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水（戦後最大の洪水）が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

江の川下流の川越地先は、堤防が未整備のため昭和47年7月洪水では地区の広範囲で家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年6月洪水、平成18年7月洪水、平成30年7月豪雨で家屋浸水被害が発生しています。

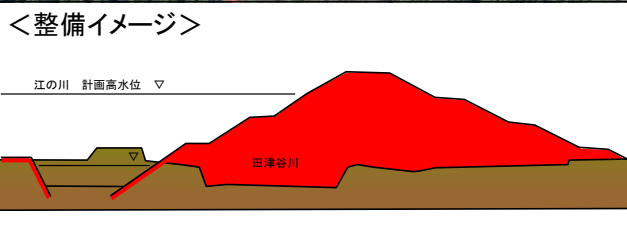
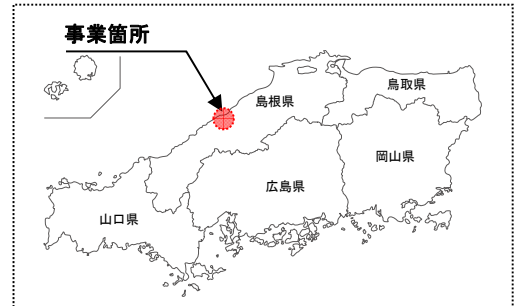
このため、「川越地区に堤防を築く事業」として堤防整備、用地補償等を実施します。

2. 事業箇所

ごうつ かわごえ
島根県江津市川越地先

3. 平成31年度 予定事業内容

江の川の川越地先において、用地補償を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

江の川下流の川平地区は、堤防が未整備のため昭和47年7月洪水では地区の広範囲で家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年6月洪水、平成18年7月、平成30年7月豪雨で家屋浸水被害が発生しています。

このため、「川平地区の土地を嵩上げて浸水を防ぐ事業」として、堤防整備、用地補償等を実施します。

2. 事業箇所

ごうつ かわひらちよう

島根県江津市川平町地先

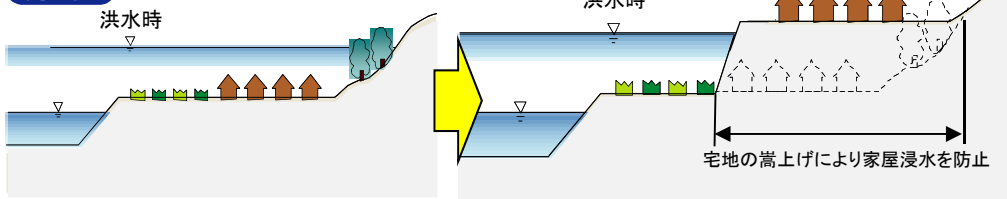
3. 平成31年度 予定事業内容

江の川下流の川平地区において、堤防整備、用地補償等を実施します。



【土地利用一体型水防災事業のイメージ図】

現状



宅地嵩上げ整備箇所(松川橋付近)

4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

道 路 関 係 事 業

平成31年度の道路事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業費	平成30年度 (当初)	平成31年度 (当初)	対前年度比 H31/H30
改 築	29,351	29,524	1.01
(うち 山 陰 道)	29,261	29,434	1.01
交 通 安 全 事 業	1,500	1,365	0.91
電 線 共 同 溝	282	688	2.44
合 計	31,133	31,577	1.01

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。
 ※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。
 ※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

【松江国道事務所事業】

平成31年度の道路事業費(松江国道事務所)

[単位:百万円]

事業費	平成30年度 (当初)	平成31年度 (当初)	対前年度比 H31/H30
改 築	22,471	22,204	0.99
(うち 山 陰 道)	22,381	22,114	0.99
出 雲 ・ 湖 陵 道 路	2,390	4,447	1.86
湖 陵 ・ 多 伎 道 路	2,705	3,830	1.42
多 伎 ・ 朝 山 道 路	6,501	875	0.13
朝 山 ・ 大 田 道 路	850	0	0.00
大 田 ・ 静 間 道 路	2,380	4,414	1.85
静 間 ・ 仁 摩 道 路	7,555	8,548	1.13
三 刀 屋 拡 幅	90	90	1.00
交 通 安 全 事 業	798	708	0.89
電 線 共 同 溝	282	458	1.62
合 計	23,551	23,370	0.99

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。
 ※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。
 ※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 出雲～仁摩間は、島根県の東西の連絡性の強化、災害時の代替路の確保、現道の急カーブや急勾配箇所の回避等を目的とした延長37.1kmの自動車専用道路です。

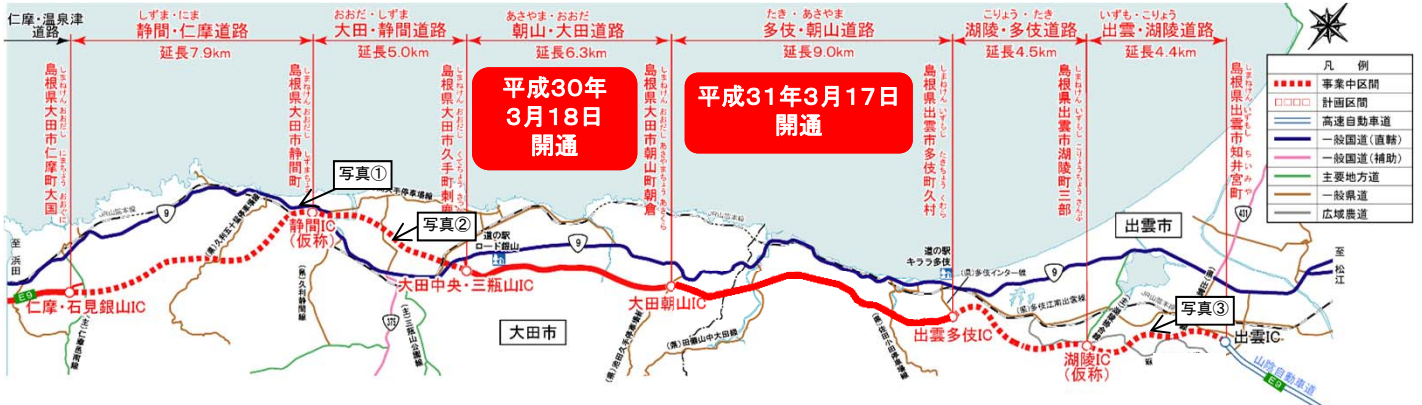
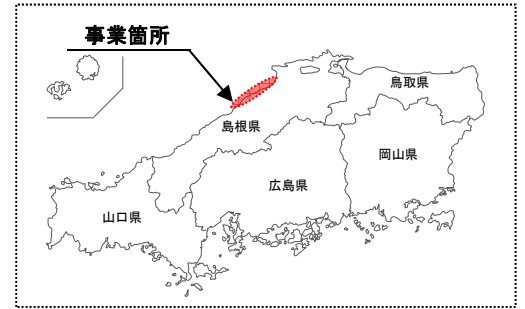
2. 事業箇所

島根県出雲市知井宮町～島根県大田市仁摩町大國

3. 平成31年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事等を推進します。

事業推進



写真① 静間・仁摩道路 静間跨線橋付近の工事の様子



写真② 大田・静間道路 鳥居地区の工事の様子

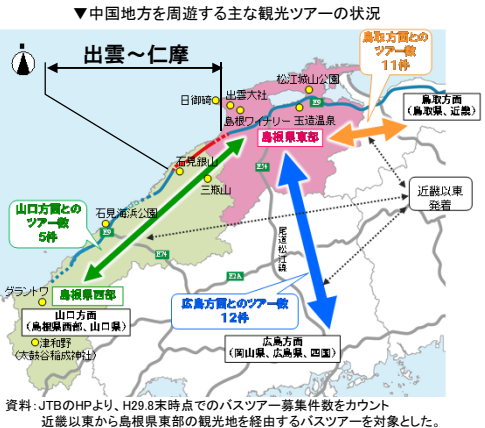
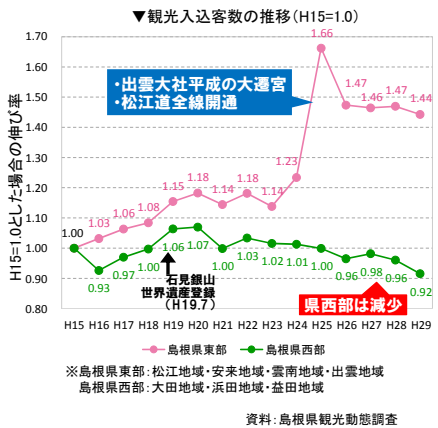


写真③ 出雲・湖陵道路 神西高架橋付近の工事の様子

4. 期待される整備効果

■ 観光・交流の活性化

- 島根県東部から山口方面（島根県西部・山口県）のツアー数は少なく、観光入込客数も伸び悩んでいます。
- 今後の山陰道の整備により、島根県東部から西部への移動時間が短縮することで、周遊観光客の増加が期待されます。



資料：JTBのHPより、H29.8末時点でのバスツアー募集件数をカウント。近畿以東から島根県東部の観光地を経由するバスツアーを対象とした。

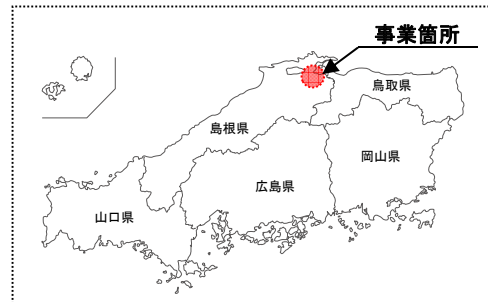
新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

あだかえ
出雲郷電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

まつえ ひがしいずもちよう あだかえ ちくやちよう
島根県松江市東出雲町出雲郷～同市竹矢町



3. 平成31年度予定事業内容

調査設計を推進します。



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。

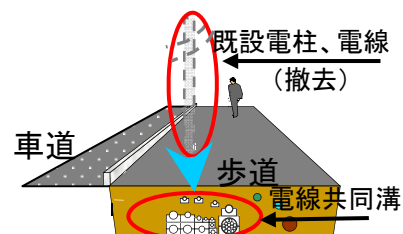


＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞



＜歩行の支障となる電柱の事例＞

《イメージ図》



4. 期待される整備効果

・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。

【浜田河川国道事務所事業】

平成31年度の道路事業費(浜田河川国道事務所)

[単位:百万円]

事業費	平成30年度 (当初)	平成31年度 (当初)	対前年度比 H31/H30
改 築	6,880	7,320	1.06
(うち 山 陰 道)	6,880	7,320	1.06
三 隅 ・ 益 田 道 路	6,340	6,560	1.03
福 光 ・ 浅 利 道 路	540	760	1.41
交 通 安 全 事 業	702	657	0.94
電 線 共 同 溝	0	230	-
合 計	7,582	8,207	1.08

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、交通事故重点対策事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。
 ※上記には道路調査費、附帯工事費、受託工事費を除く。
 ※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

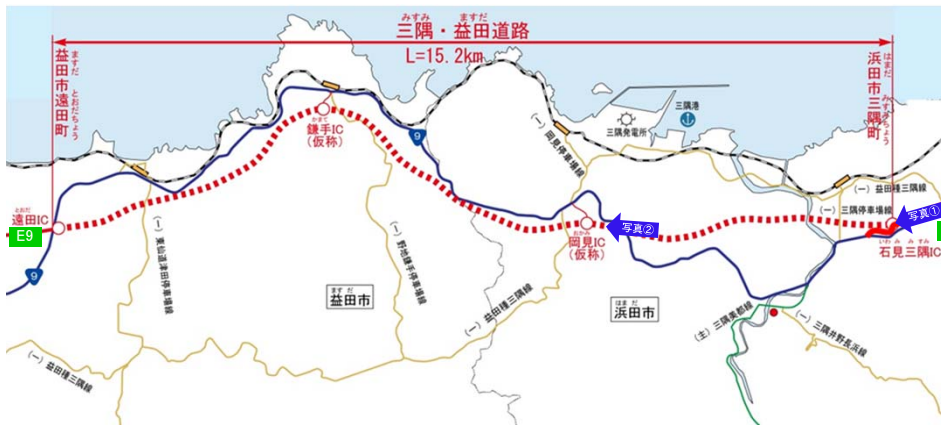
山陰道 三隅・益田道路は浜田～益田間における災害時の代替路の確保及び広域的な交流連携を目的とした、延長15.2kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県浜田市三隅町～益田市遠田町

3. 平成31年度 予定事業内容

用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。

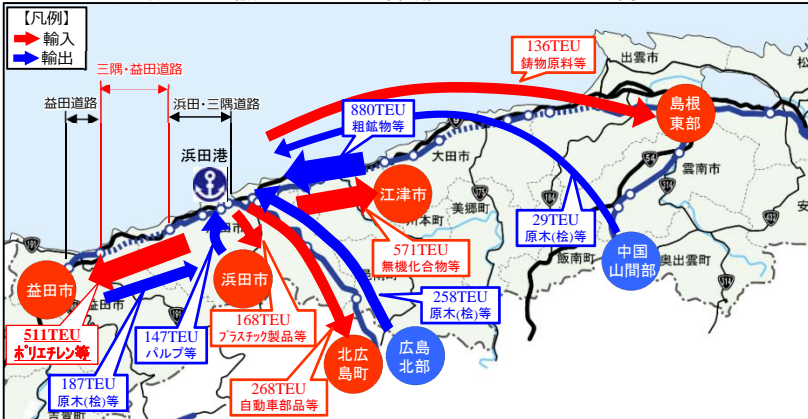


4. 期待される整備効果

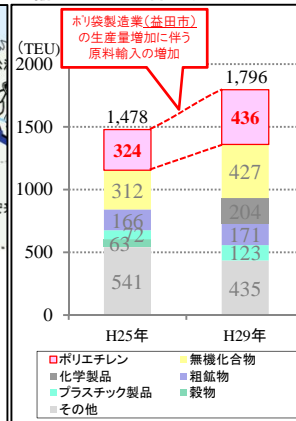
■地域産業の支援

- 島根県唯一の国際貿易港である浜田港の機能強化（臨港道路の開通、ガントリークレーンの運用など）により、浜田港を拠点とした活発な企業活動が行われています。
- 三隅・益田道路の整備により、益田方面の輸送効率が向上することで更なる地域産業の活性化が期待されます。

▼主な取り扱い品目及び輸送先(平成29年実績 取扱量上位5方向)



▼輸入コンテナ品目別内訳



▼浜田港の近年の変遷

- H29年度 定期コンテナ船(浜田～釜山)の大型化
- H29年度 浜田港港湾計画改訂
- H29年度 福井地区臨港道路供用
- H30年度 ガントリークレーン運用開始
- H30年度 大型定期コンテナ船就航2便化(浜田～釜山)

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

山陰道 福光・浅利道路は、島根県西部地域の企業立地の促進及び大田～江津間の代替路の確保等を目的とした延長6.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県大田市温泉津町福光～江津市松川町上川戸

3. 平成31年度 予定事業内容

橋梁設計、構造物等設計、用地買収を推進します。



【写真①】並行する国道9号 (交通事故による通行止め状況)



【写真②】並行する国道9号 (線形の厳しい箇所)

4. 期待される整備効果

■企業立地の促進、雇用創出の促進

- 島根県内の開通済み高速ネットワーク周辺では着実に企業進出が進んでいます。
- 福光・浅利道路の整備により、宍道JCTから浜田JCT間の高規格ネットワークを形成する事で、更なる企業進出と、地域経済の活性化が期待されます。

▼島根県内の新規立地企業進出状況(H19.4～H30.2)



▼江津工業団地の企業立地状況(H31.3時点)



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、近傍に岡見小学校が立地しており、通学路として利用されていますが、歩道の整備されていない不連続区間や狭隘な歩道であり、非常に危険な状況であることから、早急な対策が必要な箇所です。

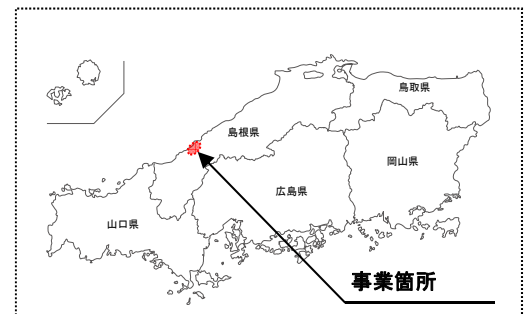
このため、不連続区間での歩道整備及び既設歩道の拡幅を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

2. 事業箇所

島根県浜田市三隅町

3. 平成31年度 予定事業内容

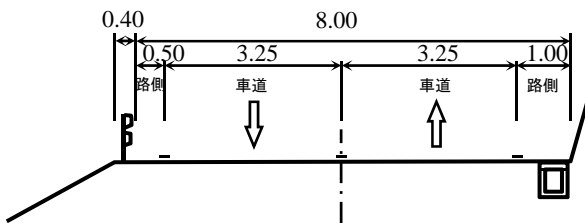
調査設計を推進します。



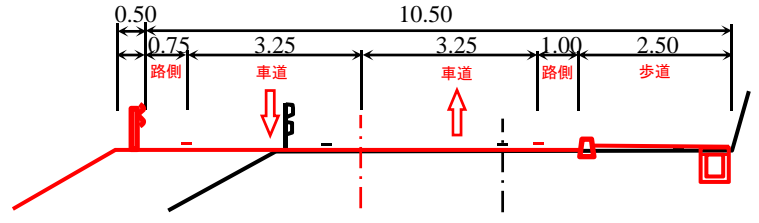
【現況写真】



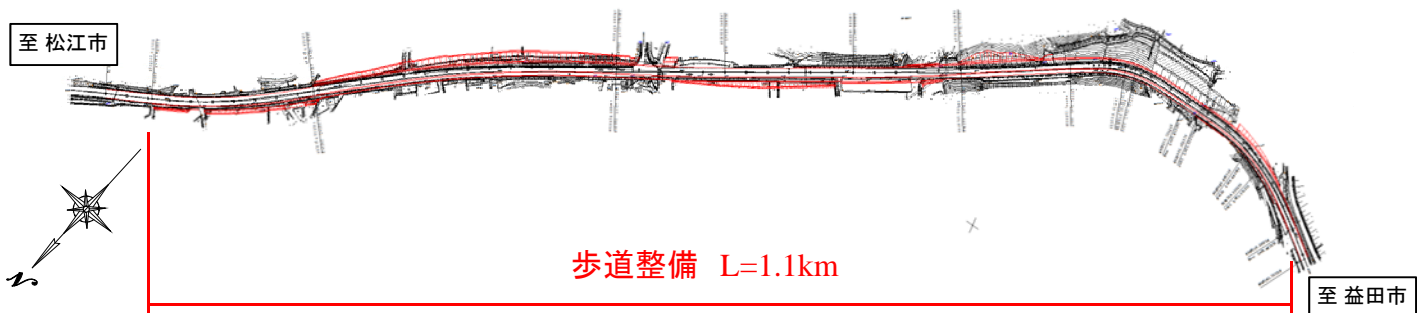
【現況断面図】



【計画断面図】



【計画平面図】



港 灣 關 係 事 業

平成31年度の港湾事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業別	港名	平成30年度 (当初)	平成31年度 (当初)	対前年度比
港湾	浜田港	1,120	1,366	1.22
	合計	1,120	1,366	1.22

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

浜田港は、島根県西部に位置し、セメント、原木、石炭等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、国際物流ターミナルでの安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。

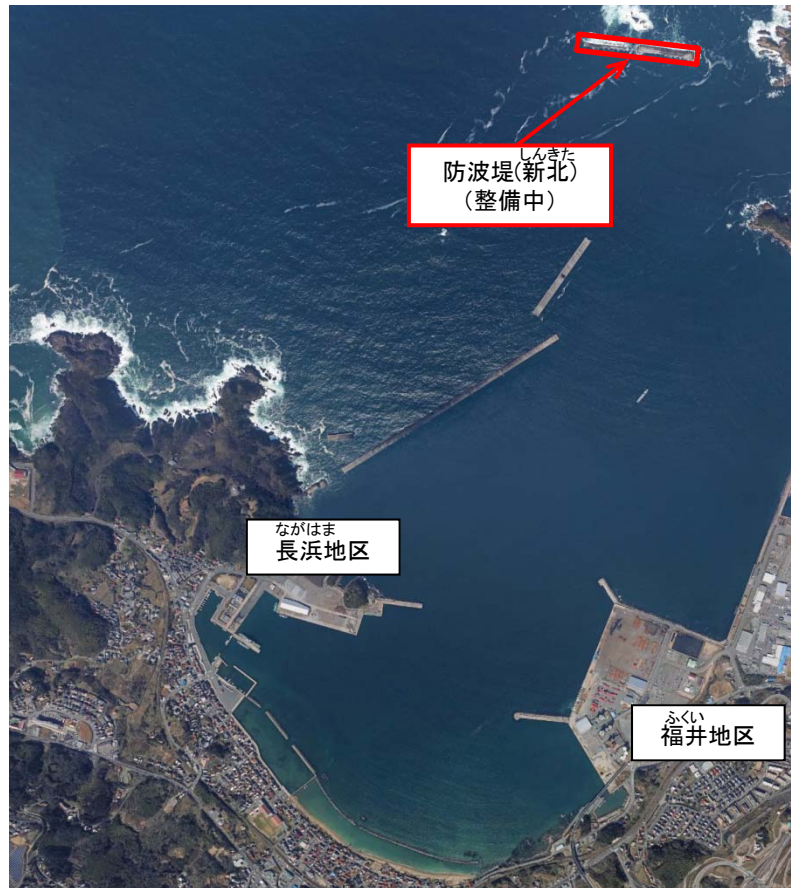
このため、福井地区において防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

はまだ
島根県浜田市

3. 平成31年度 予定事業内容

防波堤(新北)の本体工事・被覆根固工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性向上に寄与します。